



うえやま 貞茂通信

県議会議員 上山貞茂 【発行: 2025年1月号外】

発行

県議会議員 うえやま貞茂事務所

T 892-0811 鹿児島市玉里団地二丁目61-18
TEL/FAX (099) 248-7904
E-mail ueyamasada@po3.synapse.ne.jp

謹んで新春のお慶びを申し上げます

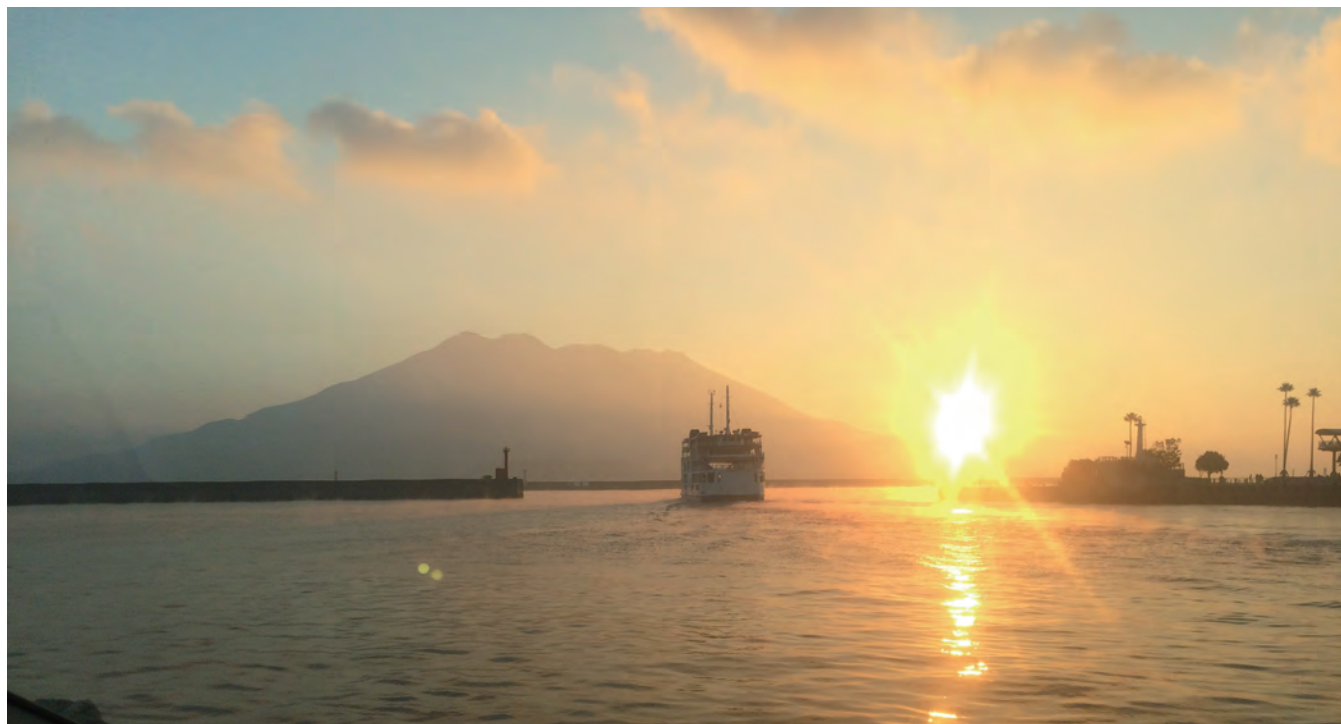
昨年は、元旦から能登半島地震、日航機と海保機の衝突・炎上、台風被害や豪雨災害も長引き心を痛める事件・事故が続きました。能登の一刻も早い復興を願うばかりです。

衆議院選挙では、自民党の裏金問題を背景に15年ぶりに自公政権が過半数割れし、国会では政治資金規正法改正や一〇三万円の壁解消などの活発な論争がされています。

一方、令和の米騒動やガソリン価格の値上がりは、庶民の生活を圧迫しています。中小企業や庶民の生活が厳しい今だからこそ、増税路線からの脱却を求め生活改善第一の政治に転換させていかなければなりません。

県内では、H3ロケット打ち上げ成功など喜ばしい話題もありましたが、オスプレイの墜落事故やJR貨物列車の脱線事故、痛ましい自動車事故や火災も相次ぎました。馬毛島への自衛隊基地建設をはじめ、各島々へのミサイル配備や港湾施設の軍事利用など琉球弧の軍事化が急速に進められています。私は反戦平和の活動にも全力をあげます。

二〇二五年は、平穏で平和な一年を目指して奮闘してまいります。



12月議会では、県職員や会計年度任用職員の給与改定、台風10号などの災害復旧事業などの補正予算112億円が計上され、さらに12月20日の本会議閉会日には、地域交通事業者への燃料油購入支援の継続や鳥インフルエンザ防疫対策など388億円の追加補正予算が採択されました。今年も、引き続き県民の声に耳を傾け、平和な社会と県民生活改善に向け頑張つてまいります。

鹿児島といえば「県警」

地元紙に、「鹿児島県」と一緒に検索された急上昇のワード第1位は「県警」と報道されました。

県警トップの不祥事隠ぺい疑惑や現職警察官による相次ぐ性犯罪、県議会での百条委員会設置決議案の否決など、全国的に注目されています。

発端は、退職された本田元生活安全部長の内部告発なのは疑いようがありません。しかし、県警は隠ぺい疑惑を全面否定、公益通報も認めていません。県議会では、



逮捕された本田氏の裁判も注視しながら、一連の不祥事案の解明に全力で取り組んでいきます。

訪問介護等に関する

意見書を採択

政府は、訪問介護の利益率が高いとして、訪問介護の基本報酬を引き下げました。しかし、都市部や大手事業所が平均値を引き上げているもので、離島や中山間地など移動時間が長い過疎地域の小規模事業所では厳しい経営を強いられているのが実情です。このままでは、訪問介護サービスが受けられなくなる要介護者や介護離職者の増加が危惧されることから、環境厚生委員会として「介護報酬引き下げの影響について調査・検証し事業規模や地域の実態を踏まえた判断を求める」などの意見書を採択しました。

八重山への風力発電事業者 知事意見書に一部対応せず

12月県議会で、鹿児島市と薩摩川内市にまたがる（入来峠付近）八重山山麓に建設予定の風力発電事業に関して、県が意見した「1キロ圏内（51件）の住宅に配慮した設置場所の再考」に対応しないまま、国に評価書を提出しようとしていることが明らかになりました。しかも、県景観条例にもとづく協議書の提出もされておらず県から指摘されています。

今後、環境厚生委員会では、現地調査を行いながら、事業者からの説明や住民の意見を聴く場を設けることとしています。八重山の景観や騒音・土砂（盛土）災害防止など住環境に配慮した対応を求めています。



てんがら館からの景観（想定図）

県体育館建設

入札不調で事業見直し必至

事業費最大313億円としているドルフィンポート跡地に建設予定の県体育館の入札が不調に終わりました。

知事は『事業者がクリアすべき最低限の「要求水準」の緩和や整備費の一部前倒し支払い、整備・運営手法の見直しを検討する』と答弁してはいるものの、規模や機能・建設地の変更など基本構想の見直しはしないとの見解を示しています。

12月議会では、事業者との調整状況の説明もなく議論は深まっていませんが、安易な事業費増は認められません。事業規模や機能等の見直しを求めています。

今年も元気に いきいき坂美会活動



坂元郵便局交差点（まち美化運動）
現在、30人程の会員で活動中